

西暦 2024 年 3 月 28 日 第 1 版

卵巣成熟奇形腫由来の卵巣がんの患者さまの情報と検体を研究に利用することについてのお願い

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

[研究課題名] 本邦における卵巣成熟奇形腫由来の卵巣がんに対する後方視的調査研究

[当院の研究責任者] 産婦人科 河村京子

[研究の背景]

卵巣成熟奇形腫は最も頻度の高い良性卵巣腫瘍ですが、約 1%でがん化するとされています。がん化症例の約 80%を扁平上皮癌が占め、そのほかに腺癌、腺扁平上皮癌、肉腫、悪性黒色腫、神経膠腫など、様々ながんの発生やその混在例が報告されています。卵巣成熟奇形腫から発生した扁平上皮癌の臨床的特徴について、本邦での実態や近年の治療の実際については、大規模な調査が行われておりません。

[研究の目的]

本研究を通して、卵巣成熟奇形腫由来の卵巣がんに対して、その臨床的特徴、治療内容、予後について、本邦での実態を把握することを目的としています。また、今後、本疾患に対して行われる、新しい治療の効果を比較評価するための指標、とすることも目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2013 年 7 月から 2023 年 6 月までに卵巣成熟奇形腫から発生した悪性腫瘍と組織学的診断が確定し治療が行われた患者さま

●研究期間：倫理審査委員会承認日から 2026 年 1 月 31 日まで

●利用するカルテ情報、検体

カルテ情報：

年齢、臨床進行期、妊娠分娩歴・閉経歴、既往歴、合併症、腫瘍マーカー、MRI/CT 所見、病理所見、がん遺伝子検査の結果（施行例）、治療内容(手術、薬物療法、放射線治療)、治療効果、治療開始後の予後情報など

(臨床研究に関する公開情報/多施設実施用)

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：新潟大学医学部産科婦人科 田村亮

●その他の共同研究機関：

特定非営利法人婦人科悪性腫瘍研究機構 Japanese Gynecologic Oncology Group (JGOG) jgog.gr.jp

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表の管理は、本研究に関与しない職員が責任をもって適切に管理いたします。

検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である弘前大学 横山良仁が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

産婦人科 河村 京子

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881